

公民館だより

和田

その2

第 330 号
 令和 4 年 2 月 10 日発行
 日置市吹上町和田地区公民館
 電話 099-296-3031
 ホームページ <http://wada.jpn.org/>



おひさま運動

- ◎ はようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち
- ◎ ろげよう読書 感動あふれる 学びのまち
- ◎ わやかな汗 心と体きたえる 健康なまち
- ◎ もろう決まり みんなでつくる 安全なまち

国道農大下の境界標周辺がきれいに



倒木も取り除き日置市の南の玄関口すっきりと

1月22日(土)に笠岡自治会長の岡元義秀さん、下和田自治会長の馬籠さんの協力を得て国道270号線の南さつま市との境にある境界標の周辺を整備しました。



立派な境界標

吹上郷土誌によると国道は、かつて「谷山筋」と呼ばれ薩摩半島を一周する道路であり、国道改良時に旧街道筋に立っていた境界標は国道の町境に移設されたと記されています。

境界標に倒れ掛かっていた倒木を処理し周辺を整備したら、大きな境界標の全容が明らかになりました。この境界標の由来などは、各方面に問い合わせるところです。

「ナントドンの墓」 歩いて行けるように



十数年ぶりに姿を現した「ナントドンの墓」

1月29日(土)下和田自治会の有志の皆さん、サポータークラブ員の協力を得て、お宝発見事業で明らかになりました下和田の「ナントドンの墓」の整備を行いました。

倒木などあり容易に入って行けなかった所でしたが、今回の整備により歩いて行けるようになりました。

代々お墓を管理してきた地権者の脇和則さん(鹿児島市在住)もきれいに整備されて喜んでおられました。

地区公民館では、今回のお宝(史跡)発見事業で出てきた貴重な史跡に説明看板を設置する予定です。

地域の歩みや歴史を知ることは、郷土愛の原点とも言われています。次の世代に大切な史跡・伝承をしっかりとつないでいきましょう。

事故ゼロの作業を目指して

刈払機・チェーンソー取扱いを学ぶ

1月23日(日)和田水土里クラブと地区公民館産業部により刈払機・チェーンソーの取り扱い講習会を開催しました。



刈払機、危険が潜んでいます…ビデオ視聴

美しい農村景観、持続可能な地域を未来の子どもたちに残すために、農道や市道、河川愛護作業を各自治会で取り組んでいます。

作業を安全に行うには、刈払機やチェーンソーを正しく使うことが重要です。

取り扱いを学ばないまま、使ってしまうと間違った使い方をして事故を招きます。

参加された皆さん方は、作業の際に学んだことを活かしていただき事故のない安全な作業を心がけてください。

来年も同時期に開催予定です。今回参加できなかった方は、次回は是非参加を!

日置市特産市(ひまわり館)開催

2月27日(日)8:30~17:00

日置市特産品消費拡大推進事業として開催されます。今回はみかん類の30%OFFとなります。

ご来店の際はマスク着用、マイバッグをご持参ください。

3月の行事予定

日	曜	行 事
1	火	ヨガクラブ 20:00
3	木	地区公民館役員・総務教養部会 19:30
4	金	スマホ教室 19:00
10	木	学校運営協議会 18:30 第4回地区公民館運営委員会 19:30
11	金	文書発送 女性学級閉級式 19:30
14	月	ハーモニカ教室 10:00
15	火	ヨガクラブ 20:00
18	金	リズム体操 10:00
21	月	○春分の日
24	木	和田小卒業式 9:50
25	金	文書発送 和田小 PTA・地区合同送別会 18:00(予定)
26	土	フラダンス教室 13:30
30	水	和田地区公民館監査 17:30

各自治会での初総会、次年度へ向けて持続可能な地域、若者の住みやすい自治会を目指した話し合いができたと思います。

「和田は住みやすいところだよ」そう口にする事から、住みやすい地域・自治会づくりは始まると言われます。言葉は「言霊」とも…良い言葉を使いましょう。

公民館だより

和田 その1

第 330 号

令和 4 年 2 月 10 日発行

日置市吹上町和田地区公民館

電話 099-296-3031

ホームページ <http://wada.jpn.org/>



第 5 期地区振興計画（令和 3 年度～5 年度）

地区のテーマ；『ずっと住みたい地域を目指して』

三世代 仲よく、住んでよし 学んでよし、

和田地区・和田小学校

和田地区人口：総人口/473 人 男性/228 人 女性/245 人 世帯数/266 世帯 4.2.1 現在

鬼火焚き開催～無病息災・五穀豊穡～ コロナ退散祈願



上和田自治会

下和田自治会

1月9日(日)上和田自治会は、清流会・真阿陀会の方々が朝から竹の切り出しや組み立てをして準備を行いました。

18時の点火、自宅より餅を持ち寄り鬼火焚きの炎で焼いて1年の健康祈願をされました。

10日(月)には下和田自治会で鬼火焚きが行われました。青壮年部で櫓の準備をし、子ども会と女性部の方々はお昼の準備や夜のぜんざいの準備をして皆さんをねぎらいました。

なかなか収まらない新型コロナが早く収束することを願いました。

鬼火焚きは、農村文化の伝承活動「伝統文化を守る」という水土里クラブ活動の一環として位置づけられています。次世代に地域の歴史・文化をつなぐ大切な機会になっています。燃え盛る炎に子どもたちは、貴重な体験ができたと思います。

下和田自治会健康セミナー開催



「意識して体を動かすと筋肉も反応し効果あり」

1月16日(日)下和田公民館で健康セミナーを開催しました。

当日は、馬籠章一自治会長のあいさつの後、体力測定・体組成計測定・GENKI企画中村先生の健康体操も何処に効いているか確認をしながら指導していただきました。

下和田自治会では、かねて運動の機会の少ない働き盛りの男子青壮年層の参加があり良い機会となりました。

6自治会で開催 102名の参加

今年度は、第5期地区振興計画の必須事業「健康づく活動」新たな取り組みとして、身近な各自治公民館で開催し、健康づくりの機運を高めることにしました。

各自治会長さん、保健福祉部員の皆様のご協力をいただき、6自治会で開催でき、102名もの方々が参加してくださいました。

なぜ、各自治会で開催したの健康セミナーの各自治会での開催のねらいは、これまで地区公民館での学級・講座に参加する方は限られていました。健康づくりに関心を寄せる機会の少ない働き盛りの世代の参加を促すことが各自治会開催のねらいでした。

男子青壮年層の参加が促進された

各自治会の参加された方々を見ますと50代60代の働き盛りの男子の方々が多く参加してくださいました。

このセミナーは、令和4・5年度も同じ時期に行います。体力・筋力の測定値の推移を比較して、一人ひとりの健康づくりへの指標を専門の先生の指導により作成することを目標にしています。

今年、未参加の方もぜひ参加し、自分の健康づくりの指標を作成してください。

下和田自治会の榎木洋子さんより

「健康セミナー」参加の感想を寄せていただきました。

- ・青壮年層から高齢者まで幅広い年代が集った。
- ・体組成分析結果により、筋肉の状態を知ることができ、食生活や運動に気を付けるようになった。
- ・1年後体調維持できるか目標ができた。
- ・ぜひ年一回のこの事業を続けてほしい。
- ・講演も体を動かしたりで、時間が足りないくらいでした。そして、週1の「筋ちゃん体操」の良さを再認識しました。

継続は力なりですね

和田小避難訓練（地震想定） 地区民も初参加



給水車も出動し、給水訓練

1月31日(月)和田小学校で地震を想定した避難訓練が行われました。これまで学校だけで実施していましたが、最近の自然災害が多いことから、地域も参加しての訓練になりました。当初は、地区民の参加を呼び掛ける計画でしたが、コロナ蔓延防止発令下でもあり、地区役員と自治会長が参加しました。

震度5強のJアラート校内放送により児童は校庭に一時避難し避難場所になる和田分団車庫に移動しました。

その後、給水車による給水袋使用の給水訓練を体験しました。

今年度に体育館前に設置された防災倉庫の物資の確認を行いました。防災倉庫には、飲料水、簡易ベッド、毛布など収納されていました。

(3月の行事予定は、裏面へ)